

特集

介護

保育

人材確保の取組

「福祉のしごと」の魅力発見！ 施設見学バスツアー



バスツアーの説明（移動中のバス車内）

岩手県社会福祉協議会・社会福祉法人経営者協議会（熊谷茂会長）が、平成30年2月に実施したアンケート結果によると、多くの社会福祉法人は「人材の確保・定着」を課題としてあげています。今回は「施設見学バスツアー」による「介護」「保育」の人材確保の取組を紹介します。



施設訪問

特別養護老人ホームにいやま荘

バスは社会福祉法人紫波会 特別養護老人ホームにいやま荘（紫波町）に到着。同法人は、デイサービスやショートステイ、介護予防事業なども行っており、利用者に寄り添いながら地域とともに歩んでいます。坂本元彦理事兼施設長からの説明後、坂本施設長の案内で施設各所を見学、具体的な説明を受けました。同施設の遠山淑恵介護士は「非常勤で就職しましたが任用試験を受け正職員になりました。法人は研修にも参加させてくれますし、資格取得も支援してくれます。産休後はデイサービスなど夜勤のない業務に配置してもらえそうです」とと法人・施設の配慮を話してくれました。

施設訪問

ケアセンター南昌

続いて訪問したのは、医療法人社団帰厚堂 ケアセンター南昌（矢巾町）です。同センターは14の事業所で地域住民に医療・保健・保育といった地域のトータルケアサービスを提供しており、チームケアに万全を期しています。滝村光一ケアセンター・南昌事務長補佐兼やはば指定居宅支援事業所管理者からの説明後、

施設見学バスツアー 介護の施設魅力発見！

施設を知るきっかけに

介護の仕事に興味のある方に、介護への理解を深めてもらおうと、7月11日、施設見学バスツアー（主催：岩手県、岩手県社会福祉協議会（岩手県福祉人材センター））が開催され、盛岡市など県内7市町から12名が参加しました。盛岡市三本柳のふ

見学前の参加者（にいやま荘前）



施設内（にいやま荘）



建物外観（ケアセンター南昌）



リハビリホール（ケアセンター南昌）



説明の様子（ケアセンター南昌）

滝村事務長補佐の案内で施設内を見学し、具体的な説明を受けました。川戸多喜子看護師長は「資格がなくとも気づきの力がある方に助けられています。人や環境に慣れることは大事です。知識と技術は後からついてきます」と参加者にエールを贈っていました。

介護の現場を知ることができたバスツアー

盛岡市から参加したAさんは「介護の仕事をした経験はありません。介護の現場を見るのは初めてですが、疑問に思ったことを職員に聞くことができました」と、矢巾町から参加したBさんは「施設の特徴がわかり勉強になりました。就職活動の参考にしたいです」と、盛岡市から参加

したCさんは「介護施設を離れて2年になりますが、高齢者の笑顔を見て、また働きたいと思いました」と感想を話していました。

介護の仕事のマッチングに向けて

バスツアー終了後の情報交換では、盛岡市から参加したDさんの「認知症の方の表情の豊かさが印象に残りました。福祉のしごとの経験がないので一から学んだ方がいいのではないかと考えています」という話に、佐々木英子キャリア支援員は「福祉人材センターが実施している『介護のおしごと職場体験』の体験者の7割がその後就職され、離職率も低いです」と、盛岡市から参加したEさんの「福祉のしごとは未経験なので



施設内の掲示（にいやま荘）

なかなか踏み出せません。バスツアーのような機会を増やして欲しいです」という話に、畠山泰彦福祉人材センター所長は「就労について不安があり自分から1歩を踏み出せない方もいます。私たち福祉人材センターの職員が、職場見学やしごと体験など皆さんを後押しします。遠慮なく相談してください」とアドバイスしていました。

介護の仕事の離職原因の1つに、就職前の「仕事のイメージ」と就職後の「仕事の実際」という「ギャップ」があげられます。離職防止のためにも、求職活動をされる方は就職前に業務を経験するなどして、就職後に「ギャップ」を感じることをないよう、また求人施設・事業所にも「短時間勤務」など求職者の実情に沿った多様な働き方にできるだけ配慮していくことが、これまで以上に必要となっていくそうです。



保育の様子（大沢保育園）



保育の様子（大沢保育園）

（ 保育園見学会 in 滝沢市保育協会 ）

バスツアーの開始

社会福祉法人滝沢市保育協会（小山尚元理事長）は滝沢市で10の保育園を運営しています。6月30日、保育士を目指す学生などを対象にした「保育園見学バスツアー」を初めて開催しました。全国的に保育士不足が続く中、保育園内の雰囲気や先輩保育士の働く姿を見て就職に役立ててもらえればと企画したものです。

ツアーには、2019年春に就職を目指す、盛岡大学・同大短期大学の学生11人が参加しました。自治体で保育園見学ツアーを行っているところがありますが、法人としては県内初の取組です。参加者は、南菓子・大沢・元村の3保育園をバスで巡りました。

学生と保育園訪問

参加者と園長2名（就職担当）が乗車したバスが保育園に到着すると、参加者は園長から保育園について簡単な説明を受け、その後園内や保育の様子を見学しました。元村保育園では、給食体験の後、法人や保育園、次年度の求人等について説明があり、

学生からの質問に保育士が中心となって答えていました。限られた時間で就職活動を進める学生からは「車を持っていないので、半日で3つの保育園を回れて業務内容も聞けるバスツアーは効率がよく、とても助かります」という声も聞かれました。

保育士への夢を新たに

バスツアーの参加者は「保育園ごとに特色があることがわかりました。仕事は大変だと聞いていますが、保育士になるという目標を変えずに頑張りたいです」、「保育園を見学する機会はこれまでありませんでした。先生（保育士）と子どもとの関わり方は勉強になりました。保育士になりたいという思いが一層強くなりました」、「自分が働く場所をイメージできました。笑顔で子どもと接することができる保育士になりたいです」などと感想を話していました。

保育園見学を就職のきっかけに

南菓子保育園（竹田喜美子園長）の竹田美千代主任保育士は、「保育園見学を保育士を目指す方の就職活

動に役立てていただければと思います」、「元村保育園の工藤玲子園長は「実際の保育の職場を見て保育の仕事への理解を深めて欲しいです。保育士になりたいという気持ちを大切に、多くの経験を積んで成長してくれればと思います」と話していました。



建物等外観（元村保育園）



園児（南巣子保育園）



給食の様子（元村保育園）



園庭見学（南巣子保育園）



園内見学（南巣子保育園）



保育の様子（元村保育園）



玄関（南巣子保育園）